富山県立中央病院
やさしさ・信頼・安心

地域連携室だより

令和4年9月号
No.243

〒930-8550　富山市西長江2-2-78 | TEL 076 (424) 1531 | https://www.tch.pref.toyama.jp/

爽秋の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力いただき感謝致します。
今月の掲載は、小児科、呼吸器内科、在宅療養支援の紹介です。

診療科の紹介　小児科

外来受診表

	月	火	水	木	金
午前1診	畑崎	五十嵐	上野	藤田	宮下
午前2診	五十嵐	藤田	畑崎	宮下	畑崎
午前3診	上野	宮下	宮下	五十嵐	上野
午後1診	畑崎		畑崎	健診	畑崎
午後2診	五十嵐	五十嵐	宮下	健診	五十嵐
午後3診	上野	藤田	上野	健診	藤田

小児科スタッフ
後列左から：上野医長、宮下部長、五十嵐（淳平）医師、西山医師、藤田部長
前列左から：作村副医長、畑崎部長、五十嵐（登）部長

この4月から当院小児科はより専門性を高めるため、「小児科」と「新生児科」に分け、相互に連携しながら治療にあたっています。当院は総合周産期母子医療センターですが、全国の総合周産期母子医療センターに指定されている施設の多くが小児科とは別に新生児科を標榜していますので、当院もそれに倣いました。また、その方が対外的にも新生児専門医のいる病院ということがわかりやすいからでもあります。現在一般小児科は畑崎、五十嵐（登）、藤田、宮下、上野、作村、西山、五十嵐（淳平）の8名で診療を行っています。今後ともよろしくお願い申し上げます。（新生児科は二谷、伊奈、東山、嶋尾、坂井、轉馬の6名です。）

◆ 病診連携小児科症例検討会

毎月第4木曜日午後7時から、病診連携症例検討会を開催しています。従来は当院を会場として行っていましたが、現在はコロナ蔓延の状況下、Zoomで開催しています。ウェブだと自宅に居ながらにして参加できるため、遠くの方にとっても便利です。従って県外の方にも参加いただいており、参加人数はウェブの方が断然多くなっています。多分、コロナ禍が終焉してもこの勉強会はZoomのままになるのではないかと思います。ぜひ今後ともこの病診連携症例検討会に多くの話題を提供していただき、一緒に勉強していきたいと思っています。よろしくお願い申し上げます。

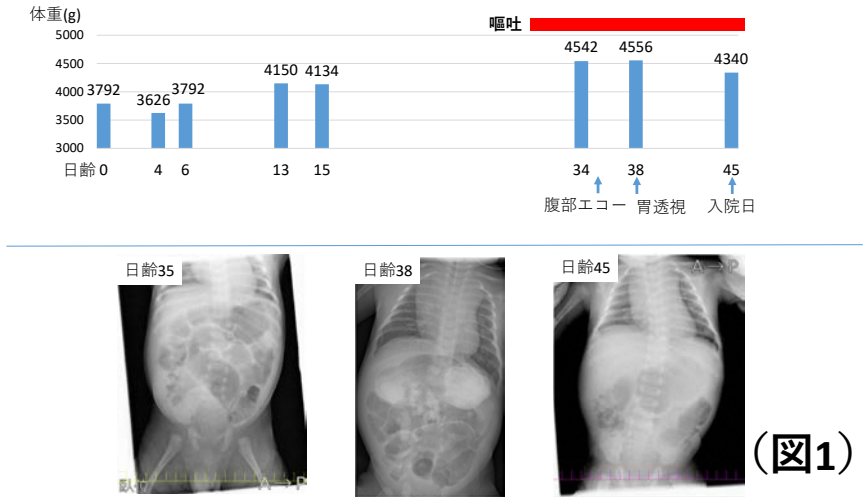
◆ 症例提示

最近、ご紹介いただいた興味ある症例を1例提示いたします。

症例は生後1ヶ月の男児。日齢30頃から嘔吐が増え、頻度、量も多いため、日齢34に肥厚性幽門狭窄症の疑いがあることを主訴に当科に紹介となりました。生後15日からこの時点までの体重増加は+21.5g/日とやや少なめでした。当科初診時に腹部エコー検査を施行しましたが肥厚性幽門狭窄症は否定的という診断でした。そのため外来で経過観察となりました。その後日齢38で再診していただきましたが、やはり嘔吐があるため胃食道逆流などの他の疾患を疑って上部消化管透視を行いました。しかし造影剤は速やかに胃を通過し、腸ガス像も亢進しているため、肥厚性幽門狭窄症は否定的と考えました。その後も経過観察としましたが、嘔吐はさらに増悪し日齢45の再診時には体重減少を認めました。そのため輸液が必要と判断し入院としました。ここまでの経過を図1に示します。このときの採血は表1のとおりで低クロール性の著明な代謝性アルカローシスを認めました。このデータは明らかに肥厚性幽門狭窄症を示唆しており、再度腹部エコーを施行したところ典型的な幽門狭窄症の所見でした（図2）。輸液で低クロール性アルカローシスと脱水を補正した後、日齢47に小児外科で手術となっています。

以上のような経過でしたが初診から確定診断まで12日間を要してしまいました。本症例のように嘔吐の症状が出現してから腹部エコーで幽門筋肥厚が明らかになるまで日数を要する場合もあるということです。図3に当科で経験した肥厚性幽門狭窄症の腹部臥位Xpのスペクトラムを示します。撮影のタイミングや日齢によってガス像は違い、本症例のように腸管ガスが亢進しており典型的でない場合もあります。また、図4に比較的長い経過で腹部エコーを撮ることができた別の症例を提示しますが、本症例と同様に日齢とともに幽門筋の肥厚が進行しています。従って診断がはっきりしない場合は経時的に、ときには日単位で再診し腹部エコーのフォローアップを行うことも必要であると思われました。

（文責：畑崎喜芳）



（図1）

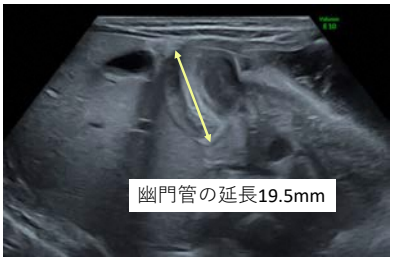
WBC	12,100 /μL	TP	6.6 g/dL	静脈血ガス分析	
RBC	4.54×10⁶ /μL	Alb	4.7 g/dL	pH	7.576
Hb	11.5 g /dL	AST	52 IU/L	pCO2	42.3 mmHg
Plt	404×10³ /μL	ALT	35 IU/L	pO2	48.7 mmHg
		ALP	316 IU/L	HCO3	39.4 mmol/L
		LDH	190 IU/L		
		CK	60 IU/L		
Na	132 mEq/L	γGT	99 IU/L		
K	3.1 mEq/L	T-Bil	5.0 mg/dL		
Cl	82 mEq/L	BUN	9 mg/dL		
CRP	0.02 mg/dL	Cre	0.18 mg/dL		

（表1）

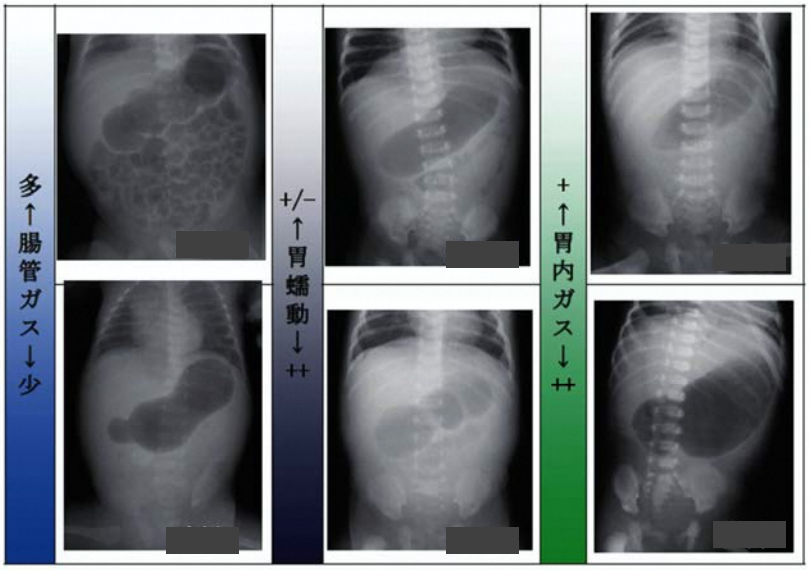
入院後腹部エコー検査

入院翌日に再度腹部エコーを行った。左季肋部に腫瘤状の陰影を認め、筋層は5.0mm×19.5mmであり肥厚性幽門狭窄症と診断した。

また、改めて腹部触診したところ左季肋部に1cm前後の腫瘤状の構造物を触知した。



（図2）



腹部Xpの
スペクトラム

（図3）

	日齢35（第4病日）	日齢38（第7病日）	日齢45（第14病日）
幽門筋壁厚（mm）	＜4	3.8	4
幽門管長（mm）	15	16	27
腹部臥位 X線写真			
静脈血液ガス分析 pH Cl（mmol/L）	NA	NA	7.588 61

（図4）

呼吸器内科のご案内

専門領域と治療内容の特徴

肺癌や悪性胸膜中皮腫などの悪性腫瘍、肺結核や肺真菌症などの呼吸器感染症、気管支喘息などのアレルギー疾患、特発性間質性肺炎やサルコイドーシスなどのびまん性肺疾患等、様々な呼吸器関連疾患の診療を行っています。

診療面においては、呼吸器外科・放射線診断科・放射線治療科・病理診断科・その他の診療科と協力しながら行っています。気管支鏡検査に関しては年間 300 件以上を実施し、肺癌に対するがん遺伝子パネル検査数や気管支喘息に対する生物学的製剤の導入数は県内でも有数です。

医師紹介

経験豊富なスタッフが万全な体制で治療をサポート

部長

谷口（たにぐち） 浩和（ひろかず）

【皆さんへ一言】
・丁寧・確実な診療を心がけます
【得意分野】
・呼吸器疾患一般、呼吸器アレルギー疾患
【専門医資格】
日本内科学会認定医・総合専門医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医、日本結核・非結核性抗酸菌症学会認定医・指導医、がん治療認定医、インフェクションコントロールドクター

医長

正木（まさき） 康晶（やすあき）

【皆さんへ一言】
・患者さんが安心できる医療を心がけます。不安なことや希望があればおっしゃってください
【得意分野】
・呼吸器疾患一般
【専門医資格】
日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会専門医

医長

津田（つだ） 岳志（たけし）

【皆さんへ一言】
・患者さん一人ひとりに合った医療を心がけています
【得意分野】
・呼吸器疾患一般、肺癌の気管支鏡診断および薬物療法
【専門医資格】
日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会専門医

医師

髙田（たかだ） 巨樹（なおき）

【皆さんへ一言】
・患者さんが少しでも元気になっていただけるように頑張ります
【得意分野】
・呼吸器疾患一般

医師

畦地（あぜち） 健司（けんじ）

【皆さんへ一言】
・丁寧な診療に努めます
【得意分野】
・呼吸器疾患一般

外来診療担当表

	月	火	水	木	金
初診		津田	谷口		正木
再診	正木	谷口	正木	谷口	髙田 / 畦地
再診	津田		髙田		津田

在宅療養支援室の紹介
（生活習慣病指導室と糖尿病フットケア外来）

内分泌・代謝内科外来の「在宅療養支援室」では生活習慣病を併せ持つ方々に、健康的な生活習慣をご自分で確立できるようにサポートしています。

在宅療養支援室内の「生活習慣病指導室」では、内分泌・代謝内科外来に通院中の患者さんやご家族に医師の指示に沿って、診察前または後に生活習慣に関する指導を行っています。

活動内容としては、右記の指導のほか妊娠糖尿病・糖尿病合併妊娠・重症肥満症・1 型糖尿病・ヤング糖尿病へのサポートや独居で自己管理が困難な高齢者の患者さんには地域と連携を図りサポートしています。

「糖尿病フットケア外来」では、足病変の予防的なケアと早期発見や治癒促進に向けたケアを行い、患者さんが足の手入れの必要性を理解し、継続的にセルフケアができるよう指導しています。内容は足の状態の観察を行い、足浴や爪切りや角質ケアの実施、足のトラブル予防を行い足病変による重症化予防に努めています。

〈指導内容〉

疾患の概要の説明、病態や合併症に関する検査や結果の見方、食事療法の重要性や食品交換表の使い方、嗜好食品や外食の影響、運動療法の効果と実践方法、経口血糖降下薬の効果や注意事項、血糖自己測定の手技、血糖値の解釈、インスリンや GLP-1 受容体作動薬自己注射の手技・管理方法、CGM（持続血糖測定）システム・CSII（持続皮下インスリン注入療法）・SAP 療法(パーソナル CGM 機能搭載インスリンポンプ療法）の管理方法、低血糖の知識と対処・予防方法、シックデイの知識と対処方法、手術時・旅行時・災害時の際の注意点、インスリン自己注射中の方の家族に対するグルカゴン点鼻粉末剤の使用指導、身体の清潔の重要性とフットケアの方法、生活改善点のアドバイス、体重管理方法など

糖尿病フットケア外来での陥入・肥厚爪の爪切り

ご利用概要

	生活習慣病指導室	糖尿病フットケア外来
外 来	月～金	月～金 12 ～ 13 時 /14 ～ 15 時
予 約	予約制　1 人 30 分程度	予約制　1 人 30 ～ 60 分程度
場 所	内分泌・代謝内科外来　在宅療養支援室	
対 象	内分泌・代謝内科医師の指示のある方	1）内分泌・代謝内科医師の指示のある方 2）糖尿病の方で ①足潰瘍などの既往 ②閉塞性動脈硬化症 ③糖尿病神経障害などの足病変ハイリスクな方
担 当	糖尿病看護認定看護師　吉川 日本糖尿病療養指導士　高橋	糖尿病看護認定看護師　吉川 日本糖尿病療養指導士　高橋 糖尿病重症化予防研修修了者　渡辺

お知らせ

1 連携談話会・症例検討会のご案内

★…医療機関スタッフの方々の公開学習の場としています。お気軽にご参加ください。

10月開催予定

★第160回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和4年10月6日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和4年10月13日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B 1階会議室

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和4年10月17日（月）19時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

胸部レントゲンカンファレンス
日 時：令和4年10月20日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B 1階会議室

★糖尿病療養指導のための講習会
日 時：令和4年10月28日（金）17時から
場 所：富山県立中央病院　中央診療棟3階　35会議室
講義：「糖尿病性腎症の病態」
問題演習：「糖尿病と血圧に必要な知識」
療養指導の実際：「糖尿病患者への効果的な運動療法の指導法」

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和4年10月4、11、18、25日（火）16時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B 1階会議室

換気、手指消毒、ソーシャルディスタンス確保、
環境整備を徹底して実施いたします。

11月開催予定

★第161回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和4年11月10日（木）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和4年11月10日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院中央病棟B 1階会議室

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和4年11月14日（月）19時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール

胸部レントゲンカンファレンス
日 時：令和4年11月17日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院中央病棟B 1階会議室

★第120回 漢方症例検討会
日 時：令和4年11月18日（金）19時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B 1階会議室

★糖尿病療養指導のための講習会
日 時：令和4年11月25日（金）17時から
場 所：富山県立中央病院　5階ホール
講 義：「鑑別すべき二次性糖尿病」
問題演習：「糖尿病性腎症に対する食事指導」
療養指導の実際：「糖尿病性腎症透析予防指導の実際～指導後の経過～」

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和4年11月1、8、15、22、29日（火）16時から
場 所：富山県立中央病院　中央病棟B 1階会議室

2 10月の外来診療に関する医師不在日

科名	医師名	不在日
循環器内科	丸山医師	21日(金)
消化器内科	松田（耕）医師	7日(金)、28日(金)
精神科	野原医師	20日(木)、21日(金)
心臓血管外科	外川医師	7日(金)
外科	前田医師	7日(金)
	廣瀬医師	18日(火)、20日(木)
整形外科	丸箸医師	5日(水)、7日(金)
	香川医師	14日(金)、28日(金)、31日(月)

科名	医師名	不在日
脳神経外科	青木医師	21日(金)
眼科	山田医師	7日(金)、11日(火)～14日(金)、19日(水)、26日(水)
歯科口腔外科	小島歯科医師	7日(金)、21日(金)、24日(月)
	倉部歯科医師	14日(金)、17日(月)

※不在日につきましては、代わりの医師が対応いたします。

3 受診にあたってのお願い

日頃より、地域連携室業務において多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。特に紹介・逆紹介においては、かかりつけ医の先生方との連携が重要と考えております。

つきましては、初診受診の際、突然紹介状をお待ちになり受診されても予約枠が一杯で後日の予約を取り、お帰り頂くことがあります。ご面倒でも、受診前に地域連携室にお電話いただき予約をお取り頂くようお願い申し上げます。

編集後記

9月になりましたが、この編集後記を書いている今はまだ、残暑が厳しい暑さが続いています。「暑さ寒さも彼岸まで」とも言われ、これから、だんだんと秋が深まってくるのではないでしょうか。そのお彼岸頃には、彼岸花を見かけるようになります。彼岸花の歴史は、中国から、縄文時代か弥生時代に1株の球根が渡来し、日本各地に広まったと言われています。別名は、曼珠沙華（まんじゅしゃげ）といい、「おめでたいことが起こる兆しに赤い花が天から降ってくる」の花の意味もあるようです。私は、秋分の日にも、毎年、お墓参りに行きます。傍には祖母が植えた彼岸花が咲いており、そこにいると、祖先の方々に見守られているようにも感じられます。今年のお参りの後は、花の意味を思い出し、「何か良いことが起こるのではないか」と想像しながら、おはぎを楽しみたいと思います。

これからも、ご指導・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

（地域連携室　山本）

朝日町舟川べりにて撮影

「地域連携室だより」の送付を希望されない場合は
下記までご連絡下さい。

富山県立中央病院
地域連携室
○代表電話　076（424）1531／内線3177
○予約専用　076（491）7160
○FAX　076（491）7109

がん診療に関する相談支援センター
ホームページアドレス　https://www.tch.pref.toyama.jp/

地域連携室（医療機関向け）電話076－424－1531／内線3177
メールアドレス　chiikirenkei@pref.toyama.lg.jp

医療相談室（患者・ご家族向け）電話076－424－1531／内線9130・9307
メールアドレス　kango@pref.toyama.lg.jp